

第 85 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた  
KDDI 株式会社への追加質問及び回答  
(モバイル接続料の検証関係)

問 1 資料 85-5 の 4 ページの「平時におけるMVNOの冗長設備の利用可能性」に関し、

- (1) 貴社においては、トラヒックの急増等が生じた際に、冗長設備を利用していますか。
- (2) 資料 84-1 の 102 ページに記載の、貴社の最繁忙トラヒックの実績値  について、算出方法を教えてください。  
(例えば、年間で最もトラヒックの多い1時間のトラヒック量を bps に換算したということでしょうか。)
- (3) 貴社が把握できる、ピーク時のトラヒックを測定する時間幅としては、どこまで細かい単位で把握できますでしょうか。例えば、1時間が最小単位になりますでしょうか。

(酒井構成員)

(KDDI 回答)

構成員限り

(1)

そのため、平時にトラヒックの急増が起きても冗長分は利用しない運用となっております。

(2) ご認識の通り、1時間当たりのトラヒックのうち、年間で最も多いトラヒック量を Mbps に変換したものを用いております。

(3) 現在弊社にて取得・管理しているデータは1時間単位が最も細かいものとなります。

問2 予測値と実績値の乖離について、

(1)

(2)

(3) 需要の乖離の原因について、どのように分析しているのか。

(4)

また、需要の予測値の算定方式は2020年接続料の算定以来同じか。算定方式を変えた場合は、前後でどのように変更したか説明して頂きたい。さらに、今回、差分が大きかったことを踏まえ、今後、需要の予測値の算定方式を変更する予定であるのか。変更する場合は、どのように変更するのか具体的に説明して頂きたい。

(佐藤構成員)

(KDDI回答)

(1)

(2)

A large, empty rectangular box with a thick red border, positioned to the right of the label (2).

(3)

A large, empty rectangular box with a thick red border, positioned to the right of the label (3).

(4)

A smaller, empty rectangular box with a thick red border, positioned to the right of the label (4).A large, empty rectangular box with a thick red border, positioned below the label (4).

